

ふたかみニュース

社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841

羽曳野市駒ヶ谷106-1

発行責任者：寺村美知子

編集責任者：楠尾薫

TEL 072(957)4041

Fax 072(957)2215

E-mail: futakami@hi-ho.ne.jp

<http://www.futakamifukushi.sakura.ne.jp/>

あけましておめでとうございます

今年もよろしく願いたします



南阪奈道路より、ふたかみ山を望む

撮影 京極與壽郎相談役

年初にあたって

理事長 井上重蔵

◇新年のあいさつ
新年あけましておめでとうございませう。

◇新年のあいさつ
昨年中は何かとお世話になり、心よりお礼申し上げます。

◇新年のあいさつ
本年も何卒よろしくお願いいたします。

◇昨年の出来事から
障害者福祉の発展のため最も大きな出来事は昨年の2月に日本でも「障害者権利条約」が批准されたことでしょう。この条約の内容は「わたしたちぬきでわたしたちのことをきめないで」、社会的障壁をなくす「など障害者の主体性を尊重し、国、社会の義務を意味しており、今後の障害福祉運動の基準になるものと思われまふ。

福祉の充実のための理由で消費税が上がり8パーセントになりました。上がった分だけ施設運営も厳しくなりました。これが10パーセントになるとより厳しくなります。

12月に衆院選があり、与党が3分の2を占めました。危惧されるのは憲法改正に向けた動き

が推進されることとです。

「国民主権」平和主義」などは現憲法の理念の下に日本の福祉は発展してきました。障害者権利条約」の理念も共通するものがあります。

ふたかみ福祉会の事業の利用者一人ひとりのことを考える時、現憲法は厳守していかなければならぬと思つた年末でした。

◇新しい事業

ふたかみ福祉会も来年度設立20年を迎えます。家族会、法人後援会、ボランティアなど多くの人に支えられ行政の理解の下に地域に根付いた法人として発展してきました。さらに利用者への要望にこたえるため、今年新しい事業として「ジョブハピバール」設立の準備を進めていきます。

今年も職員一同、利用者と共に力を合わせ努力していきたく存じます。昨年の同様ご支援のほど、よろしくお願ひ申しあげます。



12月6日にふたかみ福祉会職員研修会が開催されました。

今回は、障害のある人たちにとつての「発達保障」の視点を大切にした実践を学びました。

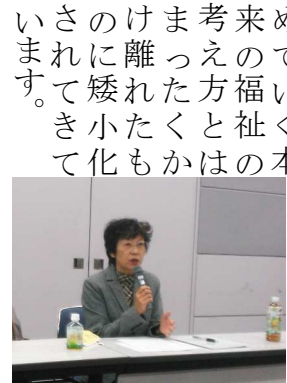
この「発達保障」は、「たとえ重度の障害があつても、人として尊重され、その人らしく豊かに人生を送られるようにする」との考えのもと、わたしたち作業所に勤める職員にとつて、障害のある人たちを支援する大切な視点としてこれまで学んできました。

法人研修「発達保障」の視点を大切にした実践

社会福祉法人いずみ野福祉会
デイセンターせんなん 井上 尚美氏

どを、職員も一緒に共感することの大切さについてでした。

昨今の障害者支援を含め社会福祉全般に関する考え方は、福祉を「サービス」としてとらえる「利用契約制度」が導入されてからは、支援者と障害のある人は、福祉サービスを提供する側」と「受ける側」の関係におかれ、利用者の「できないこと」などを補う「介護とお世話」を中心とした考え方が広まっています。そこには私たちの求める憲法に保障された生存権のもと公的責任を求めていく本来の福祉の考え方は、まいったくかけ離れたものに矮小化されてきています。



今回のお話を聞き、障害のある人たちそれぞれ「発達」的要求をとらえ、その人を主人公にかかわっていきけるように職員として支援にあたっていくことも、その本来の支援をおこなうための法整備を求め、国などに訴えていくことの大切さを職員それぞれが思いを一つにした研修会となりました。

ただ経験できたこと、な

（北川）



今年もボーナスが支給されることになり、今回は皆で一つの事を楽しむの目的にして皆で話し合った結果、焼き肉パーティーをする事になりました。

冬のボーナス活動



はびきの園 木工班

私たち木工班は12月18日(木)ボーナスの取り組みではびきの園の食堂2階で焼き肉パーティーをしました。ボーナスの話し合いでは何をこれから頑張る、収入を増やす為にはどうしたらいいのかなど皆で話し合いをしました。ボーナス活動ではないつもは大勢の前に出るのが苦手なメンバーも前に出て、皆で訴えをする事が出来ました。

が出来ました。昼食後は3時半まで皆で坊主めくりをし、大笑いをして楽しく過ごしました。最後は皆で片づけをしてボーナスの取り組みを終えました。今後も楽しい取り組みが続けられるように、売上アップを目指して作業に取り組みんでいきたいと思っています。

(木田)



「これ切ったのやー」と言いながら楽しく食べました。何度も「おかわり」と言う声



取り組み当日は皆でスーパーに買い出しへ行き、下ごしらえから行いました。

包丁使えるから野菜切るー」包丁は使えへんけど皮むきは出来るー」と声が上がって、野菜を洗う仲間と協働作業です。食べる準備が出来ると皆で手を合わせていただきます！

1月 自主製品販売予定

- 9日(金) 食とみどりの技術センター
販売11時～13時
- 16日(金) 藤井寺支援学校バザー
販売12時15分～14時
- 18日(日) 葛井寺 販売10時～12時
- 25日(日) 道明寺天満宮
販売10時～12時
- 28日(水) 滝谷不動尊販売9時～14時



12月13日(土)に、南河内北就業・生活支援センターの「はるクラブ」では、今回は参加者の数ある希望から神戸ルミナリエの鑑賞を行いました。15名の方が参加されました。元町駅周辺は大勢の観光客で賑わっていました。

神戸ルミナリエ 鑑賞

仕事に忙しくて、普段遠出して遊びにいけなかったり、友達と交流する機会が持ちにくい中、本当に貴重な機会があると感じました。みなさん充実した一日を過ごされました。

(田邊)



ルミナリエ会場に行く前に中華街を散策し、いざルミナリエ会場へ。当日は強い寒波の影響で神戸市の最高気温は8℃。日が暮れるとますます寒さが厳しく感じられました。が、アーチに光が点灯すると、みなさん一瞬で目を奪われていました。

第24回 ヒューマンウェーブ！



大阪では、障害者の人権と福祉・教育の前進を目指した活動「障害者の人権を守れ」ヒューマンウェーブ」に、取り組んできました。多数の関係団体が集まり、平成16年より12月初めの障害者週間に合わせて行っています。

大阪城公園内の教育の塔前広場には約五百人の関係者が集まり、はびきの園からも十数名のなかまが参加しました。



集会の初めには基調報告当事者のリレートークが行われ、いずれも今の障害者を取り巻く

現状と、制度・福祉の不一致を当事者の立場から切実に訴えられていました。支援学校の減少や特別支援学級の教員削減などの教育に関わる問題や、重度障害者医療費助成制度の見直しに代表される医療問題などが挙げられました。

全体集会の後はシヨレヒコールに参加しました。訴えを書いたプラカード等を片手に、作業所を増やしてほしい、二人で生活したい」といった身の回りの要求を訴えて歩きました。

寒空の中ではありましたが寒さを吹き飛ばすように障害者・家族・関係者のみんなの切実な思いを熱く訴えました。(福田)

きょうされん河内ブロック南 なかま交流会

12月22日(丹)にはびきのコロセアムできょうされん(共同作業所全国連絡会)河内ブロック南のなかま交流会に参加しました。

毎年、複数の作業所が集まって一緒に楽しい時間を過ごす催しですが、今回は数年ぶりに各作業所が、今回には数年ぶりの競技の取り組み(風船運びゲーム)となりました。外はかなり寒く、朝には雪も降っていました。皆さん元気に風船運びゲームに参加されました。普段はあまり関わりの少ない他の作業所の利用者とも交流を深める良い機会となりました。(松尾)



風船運び盛り上がりました☆

14年度12月分の後援会入会及び更新の方々(敬称略)

- 山出 高平 奥長 君子
- 鳥山 千鶴子 高村 文雄
- 高村 幸子 森 和寛
- 大西 理恵子 山本 富子
- 内本 守浩 以上1口
- 大伴 改太 渡辺 博子 以上4口

寄付・寄贈

- 一丘会 様
- 阪本 様

羽曳野市社会福祉協議会様よりクリスマスケーキを頂きました。

ボランティア

- であい 様
- 細川 直幸様
- 畑 英作 様
- 松倉 和代様
- アルミ缶回収量】1298Kg

ありがとうございました。

編集後記

あっといいう間に師走が去って新年がやってきました。昨年末は非常な寒波に堪えさせられました。今後は穏やかな気候であってほしいものです。体調管理に気をつけて冬を楽しく満喫しましょう！(東)